説明医師

様へ

説明看護師(外来) 看護師(病棟)

月日	月 日	月	日	月 日								
経過	手術前日	当日術前	当日術後	手術後1日目								
目標	母児共に安全・安楽に手術が受けられ、術後の経過が順調である。 基本的な育児知識が習得できる。											
検 査				が 血液と尿の検査を 行います								
食事	分娩食です 21時以降は絶飲食となります 朝食は	絶飲食です		朝は水分のみ昼食から全粥食となります								
	自宅で											
処置・観察	分娩監視装置をつけて赤ちゃんの状態とお腹の張り具合をみます リストバンドを装着します (退院日まで装着します)	赤ちゃんの心音を観察します 手術前に尿の管を挿入 します(手術室にて)	子宮・悪露・乳房の状態をみます ※痛み止めのチューブを 背中に入れる場合が あります	歩行可能な方は尿の管を抜去し ます								
察	体温・脈拍・血圧・ ― 酸素飽和度を測定します	0	手術後は頻回に 測定します									
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡しください 点滴用の針を挿入します (午前の手術場合)	手術前に点滴を行います 点滴用の針を挿入します 手術(午後の場合)	手術後の点滴があります ※痛み、むかつきなどが あれば看護師に申し出て ください	点滴が朝、夕にあります 内服薬が始まります								
行動	制限ありません (病棟外へ出られる際 は声をかけてください) 弾性ストッキングのサイズを合 わせます シャワーができます		床上安静となります 適宜、ナプキンの交換をします 膝の曲げ伸ばし、足首の 運動 は行って下さい	座位ができます 帰室後12時間後より可能なら歩行できます 全身を清拭します タオルを2枚、パジャマ、 産褥ショーツを用意して下さい								
説明	医師より説明 ・手術と治療計画に ついて ・新枠科医師より説明 ・麻酔について ・ 看護師より説明 ・入院生活について ・ 手術室看護師が ・ 術前訪問に来ます	看護師より説明 ・家族の方に手術中の 待機場所について		薬剤師より説明 ・使用薬剤について 看護師より説明 ・早期離床について ・授乳や搾乳について								

*入院に際して、この用紙を必ずお持ちください

- * 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
- *この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

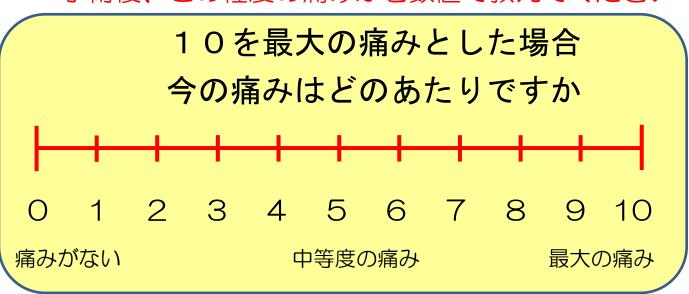
月日	月	日	月	日	月	日~	月	日	月	日			
経過	術後2日目	3日目		4~5日目			6日目		退院日 (術後7日目)				
目標	母児共に安全・安楽に手術が受けられ、術後の経過が順調である。 基本的な育児知識が習得できる。												
検 査			適宜、血液検査を行い					液の検査を います					
舎					5日目 祝服	善が出ます		1	朝食後、退	院となります			
食事													
処置・観察	創の状態を確認します。 背中に痛み止めのラブが入っている場合! 抜きます。 適宜乳房のマッサージします。 体温・脈拍・必要時間	チュー ま	排便がない場合(挿入します	は坐薬を	5日目 乳ジをします	房のマッサ	一 退院診察します	と体重測定を	退院時にリレます	ストバンドを外			
	酸素飽和度を 測定します がない場合は就	湿面	P		Ø				P				
点 滴 •	に下剤を服用します				5日目で内 終了です	服薬は							
内 服	内服薬があります												
行動	が 歩行できます 創の状態がよければ シャワーができます		シャワーが シャワーが ・シャワーが 場合は清拭	無理な	シャワ	一ができます	^ト	フーができます					
	歩けるようになり次第 排泄時に外陰部をウォン またはスポイトにぬるまシ れて洗浄してください	ンュレット											
説明	看護師より説 ・出院後の生活、治療・出産一時金・・出院・出産・・出産・・出産・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	いて、治気の検異的	いて 接支払い制度につ こついて 食査について	いて		習があります 特別紙参照)		・退院後(J説明 の生活、治療	を			
	ミルクの作り方につい (日時別紙参照)	て											

手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された <u>術後疼痛管理チーム(APS)チーム</u>が、患者さんの傷の痛みに対し て、手術前から計画を立て、<u>傷の痛みが軽減するよう</u>取り組んでま いります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale):痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

● 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください。



APS チームがサポートします。 よろしくお願いします。

